

marie claire

marieclairejapon.com

27th July, 2023
No.175

Timeless Icon

時を超えて輝く美しさ

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.175

中

国出身で日本にも縁の深い蔡國強の個展が6月29日から国立新美術館で開催されています。共催としてサポートしているのはパリのファッション・メゾン「サンローラン」。個展のタイトルは「蔡國強 宇宙遊—〈原初火球〉から始まる」。

中国福建省で生まれた蔡國強は1986年来日し、1995年に渡米するまでの約9年の間に、火薬を用いた独自のスタイルを生み出しました。またしばらくの間住まいとした福島県いわき市の人々との交流と協働は強い絆を生み、今なお続くその絆は、彼の創作活動の様々な面に深みや温かみを与えています。いわき市の人たちとの交流は、開高健ノンフィクション賞を受賞した川内有緒著「空をゆく巨人」(集英社)に詳細に書かれていますが、今や現代美術で世界的なスターとなった蔡國強の人となりを知る上で貴重な資料といえるでしょう。

さて国立新美術館で展示されている作品は、国内の美術館の所蔵作品や蔡自身が所有している作品など50点余り。作品には蔡自身のコメントが貴重な資料や映像とともに展示されています。

時系列的に4部で構成された展覧会の内容は、第1部はアーティストとしての活動を始めた中国時代。日本で自身の作品テーマを確立し、より大掛かりな火薬絵画を制作するようになった第2部、アメリカを拠点に世界で活躍するようになった第3部と第4部といった具合に分かれていて、初めて作品を見る人にも彼の活動の流れがわかる仕組みになっています。

国立新美術館の2000㎡の空間は、部屋を区切る壁やパーテーションも何もなく、ふたつの大規模なインスタレーション「原初火球」や「未知との遭遇」を展示。それを取り囲むように初期の作品群や、その迫力で見ると圧倒する「銀河で水戯」、幅33メートルもの火薬ドローイング「歴史の足跡」などが展示されていて、見るものに彼の世界観を再認識させます。また最先端の技術(AIやAR)を駆使した作品も展示されています。

作品のかかった壁面に囲まれたスペースでは、火薬で描いたドローイングが屏風画の形で、いかにも爆発を象徴するかのように放射線状に広がるように配置され、有名なインスタレーション「原初火球」を再現しています。

私が最も注目したのはLEDを使った大掛かりなキネティック・ライト・インスタレーション「未知との遭遇」でした。作品はゆっくりと回転し、時々火花のようにレッドやブルーの閃光を放つのです。まるでそこで爆発が起こっているかのように。

個展のタイトル「宇宙遊」にあるように、蔡の作品づくりの根底にあるのは宇宙に対する関心なのです。個展開幕の数日前にいわき市の四倉海岸で開催された昼花火「満天の桜が咲く日」イベントにおける挨拶で、蔡自身も語っています。

「今の世界はとても複雑で困難な状況にある。コロナ禍が収束していても人間社会では大きな変化が起こっている。経済の悪化や戦争など。AIの技術の発展もこれまでにないスピードで人間の生活に衝撃を与えている。宇宙のスケールで議論することは、目に見えない世界と話すことができ、今の社会に特別な意味を与えられるだろう」と。

前述しましたが、今回の個展をサポートしているのはパリのファッション・メゾン「サンローラン」。今や伝説となった創業者イヴ・サンローランは作品の中にアートを取り込むことをいち早く手掛け、ファッションとアート、そして社会の関係において革命を起こしたとも言えるファッション・デザイナーです。この伝統が現在のクリエイティブ・ディレクターであるアンソニー・ヴァカレロにも受け継がれ、今回の蔡國強の個展にもつながったのだと思います。

会期:8月21日まで 会場:国立新美術館 企画展示室1E 主催:国立新美術館、SAINT LAURENT



*国立新美術館で個展の始まる3日前、いわき市の四倉海岸で、「サンローラン」サポートで火薬を爆発させるプロジェクト「満天の桜が咲く日」が400メートルの海岸を使い開催されました。これは2011年に起きた津波と原発事故に対する犠牲者への鎮魂と世界平和の願いを込めた昼花火のプロジェクトです。

正午過ぎから始まった花火は1部「地平線・白い菊」、2部「白い波」、3部「黒い波」、4部「記念碑」、5部「満天の桜」、6部「桜の絵巻」という風に分かれていましたが、残念ながらドローンからの信号の不具合で4部の「記念碑」は実現しませんでした。5回の爆発プロジェクトは、まさに天空に壮大な絵を描くアートプロジェクトとして記念すべきイベントとなりました。

2023年7月27日

田居克人

Katsuto Tai, marie claire 編集長



国立新美術館個展での蔡國強氏



キネティック・ライト・インスタレーション「未知との遭遇」



後方の壁面は作品「歴史の足跡」のためのドローイング



〈原初火球〉より「cAI™の受胎告知」

Contents

- 5 Welcome to marie claire /
- 6 Cover Story:
Charlotte Gainsbourg /
- 8 Celebrity Athleisure Style /
- 9 Style Picks: Active Chic /
- 10 Style Picks: Hot Shot /
- 11 Golf Resorts /
- 12 Beauty & Wellness /
- 14 ROLEX ARTS FESTIVAL /
- 15 Travel: vol.2
KAI SENGOKUHARA /
- 16 SWAROVSKI /
- 17 SEIBU・SOGO /
- 18 marie claire
sustainable open golf 2023 /
- 19 PATEK PHILIPPE WATCH
ART GRAND EXHIBITION,
shop list

cover

cover photo: Serge Leblon
dress: Saint Laurent by Anthony Vaccarello

marie claire

2023年7月27日発行 第12巻 第7号(通巻175号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

副編集長 Deputy Editor in Chief:
高橋直彦 Naohiko Takahashi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

編集部 Editorial Team:
大林理子 Riko Obayashi
高波麻奈美 Manami Takanami
菊池美裕紀 Miyuki Kikuchi
マルチンバヤル ホストツェグ
Malchinbayar Khostsetseg
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8035 東京都千代田区大手町1-7-1
tel. 03-3216-8815
THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD.

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:
Jean de Boisdeffre
Deputy director:
Félix Droissart
Deputy director (marketing and special operations):
Nicia Rodwell
International editorial director:
Séverine Harzo
International fashion and beauty chief editor:
Sylvie Halic
International commercial director:
Elodie Bretaudeau Fontelles
International deputy commercial director:
Elisabeth Barbier
Syndication director:
Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2023
©THE YOMIURI SHIMBUN 2023
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本誌に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。





Charlotte Timeless Icon Gainsbourg

時代のアイコンとなった母と娘、 ジェーンとシャルロットの関係に 娘が初めてのレンズを向けた

Cover Story
interview & text: Mitsuko Watanabe

フレンチポップのレジェンド、セルジュ・ゲンズブールのパートナーとその娘。ジェーン・バーキンとシャルロット・ゲンズブールは常に時代の注目を浴びながら「世界一有名な母と娘」として生きてきた。愛する人の死や気まずさなど多くの感情が横たわる2人の関係に、娘のシャルロットが初めての映画撮影というかたちで自ら迫ったドキュメンタリー作品が公開される。2人の素顔と言葉がつむぐ穏やかな時間に、母と娘の普遍的な愛と詩が流れる。

日本時間の夜 10 時頃、パリの昼下りの光の中、シャルロット・ゲンズブールが PC 画面の向こうに現れた。少し暑い様子で白い T シャツの袖を捲り上げ、予想通りのスタイリッシュだが飾らないその出で立ちを見て、なぜか嬉しくなる。「フレンチアイコン」といえば、シャルロットと彼女の母のジェーン・バーキンの名前が今でも筆頭に挙がるだろう。ともに女優、歌手として活躍する2人だが、シャルロットは「サンローラン」のアンバサダーも務めている。ジェーンは東日本大震災直後に来日し、復興支援コンサートを開くなど、親道家としても知られる。それは長女のケイトの影響もあったかもしれない。写真家として活躍したケイトは、作曲家ジョン・

バリーとの間に生まれた娘でシャルロットの姉だが、残念ながら 2013 年に自ら命を絶つ不幸が訪れる。その後のジェーンの心身共の変化は、この拭えない悲しみがもたらしたものだとして作品の中でも語られている。ケイトが特に愛した京都で、2 人がお茶会を体験するシーンも作品の冒頭に登場する（偶然だが、その時のエピソードが本誌5月号の編集長による巻頭の文章で触れられている）。

映画が日本から始まることを、シャルロットは自然の流れとして語り始めた。「最初に母に撮影の話をした時にちょうど日本でのコンサートがあったので、母との特別な時間を過ごすにはぴったりの機会だと思いました。当初は、ジェーンという母とその3人の娘の関係を描く予定で、日本はケイトで、私がNY(ケイトの死後に移住)、フランスはルー(3女で父は映画監督のジャック・ドワイヨン)というそれぞれの場所で撮影する計画だったのです」

しかし日本での撮影後、ジェーンが否定的な感情になり、ルーが「これはあなたのパーソナルな映画だから」と出演を辞したことで、一旦計画は座礁。撮影再開は2年後の新型コロナのパンデミック中だった。「一緒に東京での映像を見たから母の気持ちも変わったんです。そもそも



撮影は日本から始まり、シャルロットの住むNY、フランスのブルターニュにあるジェーンの別荘などパーソナルな空間で母と娘の親密な会話が深められてゆく。セルジュ・ゲンズブールが亡くなった時そのままに保存された家を訪れるシーンには、複雑に交錯する2人の想いが溢れる

母の撮影をしたいと考えたのは、私が長くNYにいて母が恋しくなったのと、自分のミュージックビデオを監督した経験がとても楽しくて、作品を撮りたいと感じたのがきっかけでした」

母への「恋しさ」は、シャルロット自らが母として娘たちと向き合う時間から再び生まれてきたものかもしれない。彼女が12歳の時にジェーンはゲンズブールの家を出て、母と娘は別々の生活を送ることになる。翌年に映画デビューを果たしたシャルロット(85年14歳で『なまいきシャルロット』に初主演)は幼くして自分の世界をもつ。母からは「謎めいた娘」となり、2人は距離を埋められないまま長い年月を過ごす。一方娘は、「自分だけ愛されていないのでは」と他の姉妹たちに嫉妬心を抱いていたという。すれ違う母と娘は、この撮影を通していくつかの思い出の地(ジェーンが家を出てから初めてゲンズブールの家を再訪する!)で彷徨っていた時間と愛情を確認し合うことになる。

ジェーンは現在、76歳。撮影時はノーメイクでシワやシミもそのままの姿で自身と娘たちとの関係を穏やかにかつ悲哀も隠さず、時にユーモアを交えて話す姿が心をうつ。シャルロットの幼い末娘のジョーが登場することで、「おばあちゃ

ん」としてのジェーンはとても自然に存在していた。

「“古い”は私たち女優にとっては特に大きな問題で『気にしない』とは決して言えない。受け入れるには何らかの哲学が必要になります。今の若者はSNSなどで見た目の完璧さを求めて“自分自身”でいられない恐れを抱いているのが悲しい。そんな中でジェーンはすごい、とあらためて感じました。最初は綺麗に撮ろうと気を遣いましたが、ボサボサの髪の毛の母を撮影してみたら逆に唯一無二の存在感が表れてきたのです。母の自分を取り繕わない姿、老いを茶化すお茶目なところも含めて、それこそが美しいのではないかと感じました。一方で、彼女には何歳になってもコケティッシュに振る舞おうとする気持ちもあり、それも素敵でしたね」とシャルロットは語ってくれた。

映画は、シャルロットによる、ある“ラブレター”によって終わる。幼い頃からの「気まずさ」や「遠慮」が真っ直ぐな「愛」の告白に変わる瞬間は、ただナチュラルに美しい。画面には登場しなかった姉妹たちの存在もその場に満ちているような、母と娘の、普遍的で永遠に刻まれる時間が止まったような瞬間だ。

最後に「お父様の映画も撮りたかったですか?」という質問に、「もちろん!」と今日



一番の笑顔で答えたシャルロットは、“アイコン”(自分ではそう感じていないと言いが)ではない一人の娘、母であると同時に、挑戦を続ける一人の人間として優しく輝いて見えた。

———
『ジェーンとシャルロット』
監督: シャルロット・ゲンズブール
出演: ジェーン・バーキン、シャルロット・ゲンズブール、ジョー・アタル
上映時間: 92分
公開: ヒューマントラストシネマ有楽町、渋谷シネクイント他にて8月4日(金)ロードショー
配給: リアリーライクフィルムズ
www.reallylikefilms.com/janeandcharlotte

♣獅子座♣ 7月23日→8月22日 ♣すべて在る時、必要なものはすべて自分の中にあります。必要なものとは、喜び、楽しさ、安心感、そのエネルギーです。何かを達成しなくても、無条件で感じる事ができるのです。



右 Louis Vuitton ジオメトリックなラインデザインが利いたブルゾンをラムレザーのミニスカートとブーツでミニマルに仕上げて、スカート¥951,500、そのほか参考商品（すべてルイ・ヴィトン／ルイ・ヴィトン クライアントサービス）
左 Givenchy クロップド丈のスウェットとハーフパンツのコンパクトなシルエットにビッグバッグ&サングラスでボリュームをON。スウェット¥182,600【参考価格】、パンツ¥138,600【参考価格】、靴¥86,900、バッグ【参考商品】、サングラス¥74,800（すべてジバンシィ／ジバンシィジャパン）

Active Chic

モードの最前線からスポーティマインドをGET！

Style Picks
realization: Maki Kimura

アクティブなスポーツモードのトレンドがこの秋も引き続き健在。テックなスニーカーやクロップドトップスなど、キャッチーなアイテムを日常に取り入れて、スポーツミックスを楽しんで。

1.Hermès 軽量素材で仕上げたアッパーにポイントでマルチカラーを利かせて。ポリウムソールも相まってアクティブなムードに。靴¥162,800（エルメス／エルメスジャパン） 2.Chloé ヴィヴィッドなマルチカラーの配色も手作業のディップダイ加工で、リラックス&スポーティな雰囲気。フーディ¥116,600（クロエ／クロエ カスタマーリレーションズ） 3.Dior トランスベアレントなソールやメッシュデザインといったスポーティなディテールが軽快な足元を演出。靴¥159,000（ディオール／クリスチャン ディオール）
4.Max Mara モノグラムが目を引くパーカーはキャメルコートに使用したエコフレンドリーな一枚。パーカー ¥205,700（マックスマラー／マックスマラー ジャパン） 5. Balenciaga 安定感を強化したスーパーワイドなソールやテクニカルメッシュのパッチワークがアイコニック。人気の新作をオールピンクで。靴¥148,500（バレンシアガ／バレンシアガ クライアントサービス） 6.Ferragamo 透け感のあるシルクナイロンの生地感とドロコードがアクセントのカーゴパンツでスポーティな雰囲気プラス。パンツ¥159,500（フェラガモ／フェラガモ・ジャパン） 7.Longchamp ジョッキークーを彷彿とさせるブルゾンは大胆なラインデザインでモダンに昇華。ジャケット¥134,200（ロンシャン／ロンシャン・ジャパン） 8.Roger Vivier テニスソックスがドッキングしたオールホワイトのパンツでスポーティな足元に。靴[H4.5] ¥237,600（ロジェ・ヴィヴィエ／ロジェ・ヴィヴィエ・ジャパン） 9.Stella McCartney フロントのロングダブルジップがダイナミック。ジャンプスーツ¥261,800（ステラ マッカートニー／ステラ マッカートニー カスタマーサービス） 10.Loewe コントラスト配色のバイピングが利いたクロップドタンクやテクニカルジャージのトラックスーツでスポーツモードを一気に上げて。タンクトップ¥74,800、ショーツ¥90,200（ロエベ／ロエベ ジャパン クライアントサービス）

👉marieclairejapon.com

♣蟹座♣ 9月23日→10月22日 ♣幸せな経験ができる時。出来事や他人、自分から湧き出る思いはコントロールすることはできません。大切なのは、自分を喜ばせることと安心させること。そうして自分の心身を満ちします。

♣双子座♣ 5月21日→6月21日 ♣可能性を感じる時、あなたは可能性に満ち溢れています。自分の好きな物事に素直になり、喜びや幸せを感じています。自分の中にある豊かな感情をどんどん表現します。

毎日をもっとアクティブ&ヘルシーに

コロナ禍を経て、スポーツや健康への関心は高まるばかり。ファッション、そして美容のシーンでも外せないテーマとなっている。モードとスポーツの関係や、今注目のゴルフやヨガ、ウェルネスの最前線まで、気になる話題をラインナップ！



トレーニングウェアやヨガウェアを普段着として取り入れるアスレジャールックは、今やセレブリティたちにすっかり浸透。1.モデルのケンダル・ジェンナーは鮮やかなグリーンのプラトップ&レギンスに、足元は「アディダス」のスライドサンダルで 2.自身が通うボクシングジムのトレーニングウェアに、「ジバンシィ」のスニーカーでクールにまとめたモデルのベラ・ハディッド 3.落ち着いたピンク色のセットアップにショート丈のパーカーを羽織ったモデルのヘイリー・ビーバー。服装はカジュアルでも手元には大粒ダイヤモンドのリングが輝く 4.女優で監督としても活躍するオリヴィア・ワイルドは、ラインの利いた本気度高めのトレーニングウェアで街を闊歩 5.この日のヘイリー・ビーバーはカラーブロックのブルゾンに、スリットの入った超ミニのスカートで登場 6.韓国セレブの空港ファッションはハイブランドのスウェットが主役。アンバサダーを務める「セリーヌ」のルックで決めたBLACKPINKのリスア 7.話題の仏ブランド「コベルニ」のパーカーにボトムはレギンスのみで登場したBLACKPINKのジェニー。「シャネル」のミニバッグをクロスボディで

Celebrity Athleisure Style

ワークアウトから
空港ファッションまで
セレブの最新アスレジャースタイル

♣牡牛座♣ 4月20日→5月20日 ♣素直に願う時。魂が喜ぶ事に意識を向けて、ピリアなワフワフの気持ちを大切にします。自分の内面が満たされた状態であれば、自分の魂が表現したいチャンスは巡ってくるのです。

3. コスメでストレスリリース&睡眠を見直し

ライフスタイルの現代化に伴うストレスは、気がつかないうちに美の妨げになっていることがある。最新の化粧品研究において、続々とその事実が明らかになり、本格的にストレスにフォーカスした製品が登場。デジタルデバイスによる影響をカバーするアイケアや、“幸福感”が肌にもたらす影響を研究したスキんケアが今シーズンの目玉に。ルーティンケアのなかで、手軽にストレス対策ができる時代に突入しているのだ。そして、同じくらい大切な“美容習慣”といえば、日々の睡眠。毎日の眠りの質が、美肌の質を左右すると言っても過言ではない。日中に酷使している“脳”を休めるコンセプトのピローを投入して、オーバーヒートした頭を休めて。睡眠環境を整えることは、もはや美の必須条件。

（左から）ヒマラヤのピンク岩塩とフランキンセンスを用い、睡眠の質にフォーカスしたピロー。デジタルデバイスの使用等で“オーバーヒート”した脳をリラックスへ導き、クールダウンさせて健やかな眠りをサポートしてくれる。BRAIN REST ¥7,700 /ハーモニティ、ブランドを代表するラグジュアリーライン「AQ」がリニューアル。心の幸福感と美しい肌の関係に着目し、“究極のリラクゼーション”へ。極上の使い心地で、ふっくらとした“幸せそうな肌”へ。コスメデコルテ AQ アブソリュート エマルジョン マイクロラディアンس 全3種 各200mL ¥11,000 (9月16日発売) / コスメデコルテ。現代人の過酷な目元環境に着目。疲労感をケアし、すっきりとした眼差しに。朝晩それぞれのマッサージメソッドで、日ごとに輝きが蘇る。アスレティア アイゾーンケアクリーム 18g ¥4,950 (8月4日発売) / アスレティア



HOSHINOYA Karuizawa

長野県軽井沢の「星のや軽井沢」では、秋限定の2泊3日のウェルネスプランを実施。秋の豊かな自然を感じながら、伝統工芸の機織りや呼吸入浴法などを体験できる。「星のや軽井沢」長野県北佐久郡軽井沢町星野 tel: 050-3134-8091 「軽井沢 錦秋の健幸滞在」 ¥150,000 (宿泊料別・9月1日～11月30日) 1泊 ¥112,000～



OFFICINE UNIVERSELLE BULY

「ビュリー」らしい斬新な「野菜の香り」。菜園にインスピレーションを得たフレグランスは、クレソン、バセリ、ゼラニウムやペチバーなどが香る。自然の恵みに満ちた菜園の土、野菜や香草、花々の香りを思わせるノートが特長。つけるたび、大地のエッセンスを全身で感じられる。グリーンのボトルが、心穏やかな時間へ誘っているかのよう。オー・トリプル クレソン・ドリオン・エ・バルシンドゥ・サルデーニュ 75mL ¥24,200 / ビュリー ジャパン



5. 「自分を知ること」が美しさへの近道

自然に囲まれる時間を大切にしつつも、上手に最新テクノロジーの恩恵を受けるのが、次の時代のウェルビーイング。資生堂から、DNA解析で美にまつわる全27項目がわかる驚きのサービスが誕生。第三者の視点で、自身の美の強みと弱みを分析し、結果的に「最短で美しくなる」サポートに。郵送されてくる専用キットで唾液を採取して送付。シワやシミのできやすさなどの“肌体質”、老化や悪影響に対する抵抗力、体内でのビタミンを調整する力などが分かり、オンラインでアドバイスを受けられる。Beauty DNA Program ¥12,000 / 資生堂

SHISEIDO

marieclairejapan.com

魚座pisces2月19日～3月20日★やりたことをやる時、自分の中で湧き上がる思いを大切に、楽しみながら行動に移します。やりたことをやる時間や気分良い時間が長ければ長いほど、幸せ度はあがります。

水瓶座aquarius1月20日～2月18日★心から喜びを感じる時、運の流れに乗っていきます。自分自身の適正や能力を発揮して、とても気分が良い状態になります。それは魂の声に従って生きる自分の心があるからです。



KUU

プライベート空間で、緊張して凝り固まった心身をリリース。空間の香りづけや、ゆらぎ効果を利用した暖炉、森や水辺の環境音など、癒やしにフォーカス。信楽焼の水風呂やアロマ水による「ロウリュ」も楽しめる。「パーソナル・サウナKUU」 東京都港区北青山3-9-2 AQUAビル1F tel: 03-5774-1356 70分 ¥5,500 (リピー予約¥5,170)、90分 ¥6,930 (リピー予約¥6,600) <https://sauna-kuu.com/>

2. インナーケア&スパで自分をいたわる習慣を

年齢を重ねるほどに、日々口にするものが、直接体調や見た目に影響することがわかるもの。暑い季節は食事を軽く済ませたり、食事の内容が偏ったりしやすいからこそ、定期的な食習慣の見直しを図りたい。時には、フレッシュな野菜で満たされたヘルシーフードを摂ってみるのもひとつの手。また、美容と健康の“曲がり角”となる更年期前後の女性は、日々ゆらぐ体調に悩まされている人も多い。穏やかに作用するサプリメントなどを味方につけて、上手に付き合っていくのが得策だ。時には、ラグジュアリーなスパで美を磨く時間も作って。「無理をして自分ひとりで頑張る」のではなく、プロフェッショナルの手を借りるのが大人の選択。自分の心身を観察して、修復しながらチューニングする習慣を身につけよう。



SIMPLISSE

（右）内側から輝く肌を目指すローズ成分を含んだ“飲む美容液”。ブルガリアの希少なオーガニックダマスクローズを高い技術によって蒸留。1本に約450輪分のローズ成分が含まれている。普段飲んでいる水や白湯に少量加えて。オーガニックインナーセラムドリンク 150mL ¥4,104 (8月下旬限定発売) / MIC (上) 40、50代の女性のホルモン変化に着目したサプリメント。更年期ならではの自律神経の乱れや、日々の活力のなさにアプローチ。フランスの松の樹皮エキスを微細海藻由来の天然成分、ハーブやスーパーフードなど配合。シンプリス ザ バランス メノバランス 30袋 ¥9,500 (左) ホルモン変化に伴って生じる睡眠の悩みに着目したドリンク。植物性アミノ酸を豊富に含み、質の良い睡眠へと誘う。翌朝、疲労感が和らいですっきりと活力に満ちた心身を体感できるはす。シンプリス ザ バランス メナイトドリンク 20mL×10本 ¥4,800 / ともにシンプリス



MIMO

SHIGETA PARIS

ホリスティックビューティーコンサルタントのCHICO SHIGETA氏によるブランド「SHIGETA PARIS」のショップ。カフェでは通常のオーダーに加えて、オンラインカウンセリングを組み合わせてメニューを選ぶ。製品購入はもちろん、パーソナルカウンセリングや定期的なワークショップも行っており、世界観をフルに味わえる。「LA MAISON SHIGETA」東京都渋谷区神宮前5-16-13 tel: 03-6419-7640 <https://shigetaparis.jp/> ※メニュー写真は一例。季節によって変更あり。



表面的なケアだけでなく、内側からのケアが注目されている昨今。それは心身の健康がウェルビーイングにつながり、美しさが巡るから……。こまめに自分をリセットする習慣を身につけるのが、美への近道。ストレスを手放し、健やかな心身をキープする術をピックアップ。 text: Kinko Sano



Studio Beaura

表参道駅すぐの好立地にある、開放的なスタジオ。日中は青空、夜は夜景が楽しめる。全米ヨガアライアンス認定の高いクオリティのレッスンが受けられるうえ、レベルや目的に合わせたクラスを設置。瞑想やプライベートレッスンのプログラムも。「Studio Beaura」 東京都港区南青山5-6-23 スバイラル6F tel: 03-6434-1536 <https://beaura.jp/>

1. ヨガ、サウナで心身を整える

現代生活では、常に目や耳などから大量の情報が流れ込み、「ゆっくとした時を味わう」体験が乏しくなっていると言われる。雑念を取り去って、“今、この瞬間に集中する”ことができるヨガは、定期的に習慣づけると、よりアクティブな心身へ。日々の生活の中で、“瞑想”と組み合わせるなどして、頭を空にする時間を作りたい。また、若者を中心に空前のブームが巻き起こっているサウナは、短時間で自律神経の“スイッチ”を切り替える働きがあるとも。夜の寝つきの悪さや、体の芯からの冷えを感じている人はトライする価値がありそうだ。最新の施設は、香りや音なども含めて、全身で“究極のリラックス時間”を体感できる仕様になっている。個室で安心して過ごせるのも嬉しいポイント。

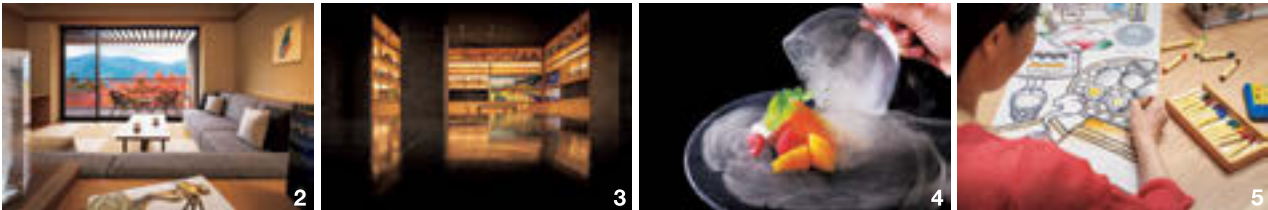
山羊座capricorn12月22日～1月19日★感覚を優先する時、望みがあれば、社会常識や、他人からどう思われるかよりも、自分の考え方や行動をコントロールして、自分はこれがいい！という気持ちになります。

地域文化とつながる温泉旅館で
日本の魅力を発見する旅
「界 仙石原」で内なる
「表現欲」と出会う

text: Jun Makiguchi



1



1.仙石原を見下ろす客室。全室に温泉の露天風呂が 2.各客室には全て違うアーティストの作品が飾られている 3.ロビー階にある「アトリエライブラリー」 4.器や盛り付けなどにもアートのセンスが光る。まるで芸術鑑賞 5.箱根をイメージした手ぬぐいに色付けする「ご当地楽」

「界 仙石原」

古来、豊かな自然が多くの芸術家たちにインスピレーションを与えてきたという箱根の仙石原。それ故に様々なジャンルの美術館が立ち並ぶ。2018年7月、この地に誕生したのが「界 仙石原」だ。観光名所すずき草原から徒歩15分ほどの標高700mの斜面に造られた建物は、エントランスを入るとレセプション階までの急勾配をエスカレーターで登っていく。その間に数多くのアートと出会うのだが、それもそのはず、宿のコンセプトは「アトリエ温泉旅館」。開業前には、「アーティスト イン レジデンス 箱根仙石原」を実施し、国内外の芸術家が滞在し作品を創作。全16室ある各客室に、この催しで創作された作品が展示されている。

一方、大自然や芸術に刺激を受けたゲストが、自己表現する場も設けられている。「アトリエライブラリー」では、地域に親しむ

ための「ご当地楽」として、手ぬぐいへの絵付け・色付け体験が可能。より創造性を深めるなら、「その地域、その季節ならではのおもてなし」にこだわる「界」の象徴とも言えるオプションプラン「手業のひとつき」への参加を。今秋行われるのは、日本画家・加藤正二郎氏とのアート制作。丁寧なレクチャーのもと、伝統画法を用いて仙石原の自然を自分らしく表現できるので、想像以上の出来映えにきっと大満足するはずだ。

ほかにも、「ご当地」感には満載。温泉は大涌谷から引かれた酸性の湯で、全国の「界」の中でもかなりの個性派。短時間の入浴で肌も滑らかになり、体もしっかり温まる。地元食材、調理法にこだわった会席料理では、旬の味が楽しめる。「先付け」には、「サーモンの瞬間燻製 フルーツと小野菜」が登場。ガラスのドームを開けると大涌谷の湯煙を思わせるスモークがふ

「界 仙石原」
神奈川県箱根町仙石原817-359
tel 050-3134-8092
(9:30～18:00 / 界予約センター)
https://kai-ryokan.jp/sengokuhara

「王道なのに、あたらしい。」をコンセプトに、日本を代表する温泉地22カ所で展開している星野リゾートの温泉旅館ブランド「界」。各地に受け継がれる伝統的な温泉文化を守りつつ新たな価値を創出し、一生モノの感動をゲストに伝えていく。今回ご紹介するのは、「界 仙石原」。関東随一の温泉地にあって多くの美術館や博物館を抱くこの土地だからこそ出会える、「界」ならではの温泉旅館の新しい楽しみ方とは？



初めての人でも簡単にすずきが描けるよう加藤氏が作った特別な櫛刷毛で、伝統的な日本画の筆法を体験

自作の絵とともに
一生モノの思い出を持ち帰る

土地への愛着をゲストにも体感してほしいと、2021年4月よりスタートさせたご当地文化体験オプションプラン「手業のひとつき」。「界 仙石原」ではこの秋、「アーティスト イン レジデンス 箱根仙石原」に参加した日本画家・加藤正二郎氏とのアート制作体験を提案している。宿から歩いて15分ほどの場所にある名勝地、すずき草原にちなみすずきを描く。「これまで体験された方全員が、自作に大満足なさっていましたよ」と加藤さん。裏彩色という伝統画法を用いて、にじみが美しい画仙紙の裏側に色を塗り重ねていく。完成は最後に和紙を表に返してからのお楽しみ。このドラマティックさがたまらない。

アーティストと対話しながら進められるのも貴重な体験だ。制作経験がない人でも、気軽に描けるよう工夫された道具と的確かつ楽しいレクチャーで、自分でも驚くほどのクリエイティブを発見できるのが魅力のプランだ。



仙石原の代名詞、すずき草原。アート体験の前後にぜひ散策を

「手業のひとつき」
仙石原の自然をテーマにした
アート制作体験
期間：2023年9月5日～11月30日の
火曜日と木曜日
時間：宿泊初日 15:00～17:00
講師：加藤正二郎氏（日本語での開催）
料金：1名 ￥10,000（税込、宿泊費別）
1日1組（1組1～3名）
予約：公式サイトにて7日前までに要予約
（事前に宿泊予約が必要）
www.hoshinoresorts.com/sp/tewaza/



日本画家・加藤氏とのアート談義も楽しい

ROLEX
ARTS FESTIVAL

一流芸術家と次世代アーティストが集う壮大なイベント
「ロレックス アート・フェスティバル」

世界中の才能溢れる若手アーティストを支援する「ロレックス メンター&プロトジェ アート・イニシアチブ」。その創設から20周年を祝して「ロレックス アート・フェスティバル」が5月にギリシャ・アテネで開催され、これまでに参加した50組以上のメンターとプロトジェが一堂に集い、様々なパブリックイベントが繰り広げられた。

photo: © ROLEX text: Keiko Suyama

世界的な腕時計ブランド「ロレックス」が2002年に創設したアートプログラム「ロレックス メンター&プロトジェ アート・イニシアチブ」をご存知だろうか？ 舞踊、映画、文学、音楽、舞台芸術、視覚芸術、建築、オープンカテゴリーの8分野において、世界的にトップクラスのアーティストを各分野1人、メンター（指導者）として迎え入れ、そのメンターが指導したい才能溢れる若手アーティストを「ロレックス」が世界中からスカウト。最終的にメンターとの面接により1人のプロトジェ（生徒）に絞られ、一対一の指導による創造的なコラボレーションを作り上げるという画期的なプログラムなのだ。メンターは錚々たる面々で、例えば音楽ではブラジル音楽界の神と呼ばれるジルベルト・ジルや、建築では日本を代表する建築家「SANAA」の妹島和世、視覚芸術ではパフォーマンスとメディア・アートによる芸術表現の先駆者であるジョーン・ジョナスなど、誰もが一度は指導を受けてみたいと思う各界の著名アーティストばかりだ。

2年ごとに行われるこのプログラムでは、メンターとプロトジェは最短6週間を共に過ごすことが求められる（多くの場合はそれよりも多くの時間を過ごす）。次にどこでどのように交流したいかについての意見がまとめられ、共同でプロジェクトに取り組むこともある。プロトジェはメ

ンターの職場への立ち入りが認められることもあり、プロジェクト遂行のための両者の渡航費などは全て「ロレックス」側が支援する。さらに素晴らしいのは、プロジェクト終了後も引き続きメンターとプロトジェが定期的な交流できる機会が与えられ、2年に一度世界各都市を巡回し開催されるイベントには、過去の参加者が全員招待されるという。創設以来、120カ国から1350人がこのプログラムに推薦され、現在までに63人のアーティストがメンターとなり、41カ国から63人の若手アーティストがプロトジェに選ばれた。このプログラムの最大の魅力は、その分野の巨匠と呼ばれるアーティストと長期にわたり一対一で交流する機会が与えられるだけでなく、分野をまたいだアーティスト同士の交流も積極的に行われる点だ。

ギリシャのアテネで5月26～28日に開催された今回の「ロレックス アート・フェスティバル」は、過去に発表されたプロトジェたちの作品が一堂に会する貴重な回顧展でもある。市内の様々な会場でパフォーマンスやコンサートが開催され、3日間市民を巻き込む巨大なイベントと化した。さらに各分野の作品発表後には、メンターとプロトジェによるトークイベントも開催され、芸術教育、メンターシップの重要性など、国や世代を超えた様々な意見交換が行われた。



ガラパーティーが行われた会場「ARTEMIS」



会場には多くのアテネ市民が参加



プロトジェとメンターは親子のように仲睦まじい関係を築いていた



最終夜のクロージングコンサートでは、メンターのジルベルト・ジルがボサノバの曲を披露



フェスティバル初日のガラパーティーに集まるメンターとプロトジェ



セネガル出身のプロトジェ（舞踊）コウディア・トゥーレによるパフォーマンス



視覚芸術分野のプロトジェたちによるトークイベント



ペルー出身のプロトジェ（音楽）バウチ・ササキと30人のコーラスによるパフォーマンス



アメリカ出身のプロトジェ（舞踊）ジェイソン・アキラ・ソソマの作品は、画面の前で動く作品も動く仕掛け

SEIBU・SOGO

目元にクチュールの煌めきを
「イヴ・サンローラン」からラグジュアリーな
アイシャドウパレットが誕生

洗練されたカラーと発色で、目元を美しく
ドレスアップする「クチュール ミニ クラッチ」が新登場。質感の異なる
多彩なシェードが織りなす目元は、まるでハイジュエリーを纏ったか
のような、特別なオーラと存在感を放つはず。

photo: SHINMEI(SEPT)



「バリ」と
「マラケシュ」の情景を
多彩なパレットで表現

「イヴ・サンローラン」が愛した地、「バリ」と「マラケシュ」へのオマージュを上質な色彩で実現。保湿力の高いオイルを配合することで、その美しい発色が長時間持続できるのもうれしい。〈上から〉血色感と情熱的な温かさを宿すウォームピンクをセットした#500「メディナ グロウ」、ターメリックやサフラン、シナモンを彷彿とさせる鮮やかなスパイスカラーがそろった#300「カスバ スパイス」、女性らしさとクールさを効かせた絶妙なピンクシェードの#400「バビロン ローズ」。すべて「クチュール ミニ クラッチ」各¥9,900 / イヴ・サンローラン・ボーテ お取り扱い店舗 西武: 池袋本店、渋谷店、そごう: 横浜店、千葉店、広島店、大宮店、e.デパート ※7月26日(水) 西武池袋本店、オンラインサイト「e.デパート」で先行発売。その他の店舗は8月4日(金) 発売

Special Event イヴ・サンローラン アイシャドウパレット スペシャル イベント 【クチュール ミニ クラッチ】開催中

会期: 8月1日(火)まで
会場: 西武池袋本店1階(中央A6)=化粧品売場 イベントスペース

「クチュール ミニ クラッチ」の発売を記念して、6種のパレットの多彩な色合いを、いち早く体験できる、スペシャルイベントを開催。限定ギフトのご用意も。また、イベント期間中、「イヴ・サンローラン」製品を¥9,900(税込)以上お買いあげの方に「YSL オリジナルボーテ」をプレゼント。この機会をお見逃しなく! ※予約優先。なくなり次第終了。

SWAROVSKI

大胆さとエレガンスを追求
「スワロフスキー」の新たなビジョン

昨年7月、「スワロフスキー」の最高経営責任者に就任した
アレクシ・ナザール氏が来日。リブランディングの戦略、
環境に配慮したサステナブルな取り組みなど、
新生「スワロフスキー」の“今”を聞いた。

photos: © SWAROVSKI
text: Tomoko Kawakami

1895年にオーストリアで誕生した世界的なクリсталブランド「スワロフスキー」。創業時から127年間、一族経営を継続してきた「スワロフスキー」が昨年、初めて創業家以外から最高経営責任者(CEO)を迎え、ビジネス的にもクリエイション的にも大きく舵を切った。

その転換期を牽引するのが、新CEOのアレクシ・ナザール氏だ。「私はブランドビジネスに30年以上、携わっています。そこで感じたのは、ブランドとは進化していくものであり、変化していくべきだということ。『スワロフスキー』もそうです。ブランドのDNAを核としながら、進化と発展を推進することで、方向性をより明確にし、さらにエッジの利いたクリエイションを打ち出していきたい」とナザール氏は語る。

「スワロフスキー」は2020年に、ファッションエディターなど、モード界で20年以上のキャリアを持つ、イタリア人のジョバンナ・エンゲルバートをクリエイティブ・ディレクターに迎え、リブランディングに着手してきた。「我々のようなブランドは、素晴らしい商品がなければ何も生み出していないのと同じです。いかに店舗が美しくても、広告ビジュアルが素晴らしくても、お客様をワクワクさ

せる商品がないと始まらないのです」

新生「スワロフスキー」は、魅力ある商品を提供することと同時に、サステナビリティについても積極的に取り組んでいる。「環境に配慮した物作りは、我々の義務。さらにミレニアル世代、そしてZ世代の消費者は、企業がサステナビリティに配慮することを求めている。私たちは、リサイクルメタルだけを用いたコレクションを発表したり、クリсталを廃棄せず、溶かして再利用する試みにも挑戦しています。さらに鉱山から採掘するよりもサステナブルな「ラボグロウン・ダイヤモンド」のコレクション拡大にも取り組んでいます。これは、天然のダイヤモンドが自然界で生成される圧力、温度、湿度をすべて研究所で再現して作られる人工のダイヤモンドです。また、ファクトリーでは再生可能エネルギーを100%使用しています」

そんな改革の歩みを止めない「スワロフスキー」は現在、ファッション写真の巨匠、スティーブン・マイゼルトとトップ・メイクアップ・アーティストのバット・マクグラスを起用した新たなキャンペーン「Metamorphosis」を展開中。華やかなクリстал・ジュエリーの魅力が詰まった、心躍るビジュアルに仕上がっている。



7.クリエイティブ・ディレクターのジョバンナの新しいコンセプトによりリニューアルした「Swarovski 銀座」のコーナー。ブルーを基調にした、オクタゴン(八角形)モチーフのディスプレイが特徴 8.9.今年5月にオープンした名古屋地区初の路面店「Swarovski名古屋」も新コンセプトによるファサードやインテリアが印象的



1,2.オーストリアの女帝、マリア・テレジアが18世紀に作った魔法のようなガーデンを着想源にした新たなキャンペーン「Metamorphosis」3.ピンクの花びらが愛らしいデザイン。ペンダント「Florere」¥26,400 4.独特の幾何学的な輝きを放つバイナッブルモチーフに視線が集中。リング「Idyllia」¥115,500 5.パワーと個性のシンボル、オウムが主役。グラマラスなリングは装いのアクセントに。リング「Idyllia」¥79,200 6.長寿を意味するカメはカラフルな配色で華やかなムードに。ペンダント「Idyllia」¥59,400(すべてSwarovski Jewelry / スワロフスキー・ジャパン)

PATEK PHILIPPE WATCH ART GRAND EXHIBITION

至高のウォッチメイキングにため息の連続
「パテック フィリップ・ウォッチアート・
グランド・エキシビション(東京2023)」

「パテック フィリップ」の創作のすべてが集結した過去最大規模の展覧会
「ウォッチアート・グランド・エキシビション(東京2023)」が6月に東京で開催。
時計界最高峰のブランドの歴史や創作にかける情熱を体感できる
壮大な展示に、訪れた人々は深い感動に包まれた。

text: Kaiko Homma



巨大なガラス張り天井に覆われ自然光がふり注ぐ、2500㎡を超える会場に、「パテック フィリップ」が本社を構えるスイス・ジュネーブのイメージが再現された



花時計で知られるジュネーブの通りやレマン湖の風景が会場に出現



ヴィクトリア女王に献上されたペンダント・ウォッチ(左)と、ひときわ人だかりが目立ったその展示ルーム(右)



ジュネーブの「パテック フィリップ・サロン」にある「ナポレオン・ルーム」を再現。窓枠のスクリーンには、レマン湖の風景が映し出される演出も

6月10～25日、西新宿の高層ビル街の中にある新宿住友ビル三角広場で開催された「パテック フィリップ・ウォッチアート・グランド・エキシビション(東京2023)」。500点以上のタイムピースやオブジェが展示され、「パテック フィリップ」がこれまでに開催した中で最大のエキシビションとなった。

時計やアートの愛好家たちが心待ちにしていた本展は、単なる展覧会ではなく、ちょっとしたテーマパークのような賑わいだった。チャイムの音で時刻を知らせるリピーターウォッチの音が聴けたり、機械式ムーブメントの中に入り込むような気分になれるムービーを鑑賞したりと、楽しみながら高級時計の世界を体験できるため、多くの人が足を運んだ。

女性たちにとってのハイライトは「ミュージアム・ルーム」。花やフルーツ、楽

器などをモチーフにした愛らしい時計や、金銀細工の粋を尽くした美術品のような逸品が華やかに並び、時間の経つのも忘れて見入ってしまう。

中でも印象的だったのは、1851年のロンドン万国博覧会で「パテック フィリップ」から英国のヴィクトリア女王に献上されたペンダント・ウォッチ。ロンドン万博はガラス張りの特設宮殿で開催されたというが、今回の会場もガラスの天井から自然光が降り注ぐ。172年前、ヴィクトリア女王もこんな明るい光の中で時計を見たのだらうと思うと、いっそう感慨深い。

さらに会場には「稀少なハンドクラフト・ルーム」「クラフトマン・ルーム」などが備えられ、スイス・ジュネーブから来日した職人たちによる木象嵌や七宝、ギョシェ彫りの実演も。日本の風景や絵画にインスパイアされたユニークピースやリミテッ



「パテック フィリップ」の歴史を画する3つの超複雑時計を展示した「スーパースーパーコレクション・ルーム」



日本の文化や芸術にインスパイアされたデザインを、緻密なハンドクラフト技術を駆使して表現したユニークピースやリミテッド・エディションが多数登場



彫金、七宝、木象嵌の技巧を凝らした作品が展示された「稀少なハンドクラフト・ルーム」

ド・エディションはため息もので、「日本人コレクター貸与タイムピース・ルーム」にも日本をモチーフにした時計が並ぶ。

広い会場をめぐるというと、歴史の中で培われた高度な技術や研ぎ澄まされ

た美意識が、現代の華麗なジュエリーウォッチにつながっているのだとわかってくる。文化としての時計、老舗メゾンの価値、そして美意識を体感できる、とびきりスペシャルなエキシビションだった。



marie claire sustainable open golf 2023 参加者募集!

女性限定

自然にふれ、人と地球を考える

第1回「marie claire」ゴルフコンペを開催

「marie claire」では、SDGs週間の9月25日、「ゴルフを通じて自然にふれ、人と地球についてあらためて考える」をテーマに「marie claire sustainable open golf」を開催します。モデルの浦浜アリスさんもゲストとして参加予定!

会場は、通常一般の方はご利用頂けない、伝統ある会員制コース「よみうりゴルフ倶楽部」。当日は、18ホールすべてを

貸し切り。ファッション関連のブースが登場するなどプレー以外の楽しみも満載。多摩丘陵の豊かな自然に包まれた名門ゴルフ場で、この日だけは、スコアを気にせず楽しめる女性限定のイベントです。主催者、協賛各社より豪華賞品もご用意。お一人でもお友達同士でも、ご家族での参加も大歓迎です。ぜひお早めにエントリーください。



スペシャルゲストの浦浜アリスさん



協賛社などから豪華賞品も用意。「marie claire」のファッションバイクやゴルフウェア、大人気のリファシャワーヘッド、FALCONERI(ファルコネーリ)のカシミア100%のニットをはじめ、キャディーバッグやゴルフシューズなども

開催日時:2023年9月25日(月)6:40～17:00

場所:よみうりゴルフ倶楽部

東京都稲城市矢野口3376-1

参加費:おひとり様 ¥18,000(税込)

キャディー付きプレーフィー、昼食、パーティー費を含む。ゴルフ場利用税(¥1,200)別。その他飲食は別途。
※お申し込み後、当選者の方にメールでお知らせし、参加費を事前にWEBでクレジット決済にて申し受けます。警報発令等でゴルフ場自体が営業できない事態にならない限り、雨天決行です。入金後のキャンセルおよび返金は承りかねます。ゴルフ場自体が運営できない場合はイベントを中止とし、参加費は全額返金いたします。

競技方法:18ホールストロークプレー、プレー後に表彰式を開催、新ペリア方式により順位決定
優勝～15位、ベストグロウ賞、ニアピン賞、ドラコン賞等を予定。「大丸東京店ベストドレッサー賞」の受賞者には大丸東京店のゴルフ売場で利用できる金券55,000円分をプレゼント! また、参加者全員に、サングラス、大会オリジナルゴルフボール、大丸東京店のクーポン、FALCONERI(ファルコネーリ) 一部店舗で使える割引券も。

申し込み締め切り:8月8日(火)23:59

●募集詳細・エントリーはこちらから

<https://marieclairejapon.com/lifestyle/128719/>



上記URLから応募フォームにアクセス。
必要事項をご記入のうえお申し込みください。
募集定員は40組160名、エントリーはお早めに!
※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。応募締め切り後にメールの発送をもって当選・落選の発表とさせていただきます。
※本イベントのスケジュール・内容は都合により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※本イベント中、または本イベントの参加の行程で発生した事故、けが、疾病、所持品の紛失または破損などによる一切の損害について、主催者は主催者の責めにより発生した損害を除き、責任を負いかねます。

※イベント中に写真撮影を行いInstagramやマリン・クレール デジタルなどで掲載する場合がございます。予めご了承ください。

shop list

掲載商品のお問い合わせ先

ア アーバー・セー カスタマーサービス tel: 0120-500-990
アスレティク tel: 0120-220-415
アニヤ・ハインドマーチ ジャパン tel: 0800-800-9120
アングダーズ 東京「AO スパ&クラブ」 tel: 03-6830-7735
MIMC tel: 03-6455-5165
エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
オフィス・ヌーヴェルセル・ビュリー/Buly Japan
tel: 0120-09-1803
カ グッチ クライアントサービス tel: 0120-99-2177

サ クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947
クロエ カスタマー・レレーションズ tel: 03-4335-1750
コスメデコルテ tel: 0120-763-325
サンローラン クライアントサービス tel: 0120-95-2746
シグタ ジャパン tel: 0120-945-995
資生堂 tel: 0120-81-4710
ジバンシィ ジャパン tel: 0120-218-025
シンプリス tel: 0120-370-063
ステラ マッカートニー カスタマーサービス tel: 03-4579-6139

タ トリー パーチ ジャパン web: <https://www.toryburch.jp/ja-jp/>
ナ 日本ロレックス / チューダー tel: 0120-929-570
ハ ハーモニティ tel: 03-6875-3754
バーソナル・サウナ KUU tel: 03-5774-1356
パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター
tel: 03-3255-8109
パレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136
フェラガモ・ジャパン tel: 0120-202-170
マ マーク&ロナ tel: 03-6427-0791

ラ マックスマール ジャパン tel: 0120-030-535
メゾン キツネ カスタマーセンター tel: 0120-667-588
ラルフ ローレン tel: 0120-3274-20
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
ルシアン ベラファネ tel: 03-5647-8333
ロエベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116
ロジェ・ヴィヴィエ・ジャパン tel: 0120-957-940
ロンシャン・ジャパン tel: 0120-150-116

marieclairejapon.com



Welcome to Our Site!